

地域みらい図ワークショップ

ー地域の未来をみんなの手でー

～鎌倉市鎌倉地区①(第1地区社協) レポート～



実施日程：令和7年(2025年)6月22日(日) 場所：福祉センター第1・2会議室 参加者：12名

主催

鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会



ワークショップのねらい

地域には、子育て、高齢者の見守り、障害のある子どもや大人のサポート、移動の不便さ、近所づきあいの変化、地域行事の継承など、さまざまなニーズがあります。こうした「くらしの課題」は、市だけで解決するのではなく、住民同士の支え合いや公的な制度・支援とも連携しながら、地域全体で取り組んでいくことが大切です。

そこでワークショップでは、いろいろな立場の人が「この地区で、これからどんなふうに暮らしたいか」から出発し、数年後のまちの様子を具体的に描きました。住民の関わり方の選択肢が広がり、役割を無理なく分かち合える地域づくりにつながることを、ねらいとしました。

地域の見守りや行事の運営は、一部の人の役割が集中しやすく、「このままだと続けるのが大変」という声もあり、地域の課題として「担い手不足」が語られがちです。

一方で、「担い手不足」を強く打ち出すと、地域への参加が責任や負担を伴うものとして受け止められ、新しく関わる人にとってハードルが高くなることがあります。

そのため今回は、役割の話から入るのではなく、地域で大切にしたい暮らしのイメージや、一人ひとりの思いを語り合うことを大切にしました。

実施内容

当日は、次の2つのステップで進めました。

- ・「いま」と「これから」の意見交換(困りごと・大事にしたいことの共有)
- ・地域みらい図づくり(架空の地図に、鎌倉地区①(第1地区社協)のどこかをイメージしながら、場所・人の動き・そこで交わされる会話・うまれる関わりなどを、イラストや文字で描いてみる)

地域の課題は抽象的なことも多いため、いまの暮らしを出発点に、数年後の地域で見たい景色や場面を描くことで、「どんな地域を目指したいか」「そのために何が大切か」を、共有しました。

鎌倉地区①(第1地区社協)で描く「未来の風景」(地域みらい図より)



※紙面の都合で、地域みらい図は代表例のみ掲載しています。どのグループからも大切な意見をいただきました。いただいた内容は別途取りまとめ、今後の検討に活かしていきます。





鎌倉地区①（第1地区社協）で描く「未来の風景」（地域みらい図より）

○未来の風景①：祭りや食、防災訓練を通じて、日ごろから備えるつながりがある

- ・祭り、防災訓練、炊き出し、食堂やサロンなど、日常の交流の場が、いざという時の助け合いにつながる。
- ・高齢者や車いす利用者、子ども連れなども含め、誰もが無理なく参加できる。
- ・「災害の時に日ごろからどうつながっているか」が大切にされ、備えが日常の中に根づいている。

○未来の風景②：ゆるく集まり、話し、関われる場から担い手が生まれる

- ・強い役割や責任から入るのではなく、近所で顔を合わせ、少し話せる場がある。
- ・公園や空き家、身近な場所が、地域と関わる入口として活かされる。
- ・一緒に食べる、話す、趣味を持ち寄るといった、ゆるやかな集まりから担い手が生まれる。



○未来の風景③：子どもや若い世代も、身近な場を通じて地域とつながれる

- ・子どもの居場所や遊び場があり、子どもや若い世代が地域に関わるきっかけがある。
- ・商店や神社など、地域の風景そのものが交流の場として活かされる。
- ・高齢者が子どもを応援し、世代を超えてゆるやかにつながる地域になっていく。



鎌倉地区①（第1地区社協）の様子

問 地域福祉の活動を促進するために必要なことは何だと思えますか。（○は5つまで）

区分	回答者数	参加内容の活動	定間参加場	うと仕 と事 な両立 内容の 活動	動キ自 ル分の をの特 活かす やす活	がに地 で交域 交流住 する民 ことと 気軽	や活動 す場所 くを使 い	に新情 発信報 をこま め最	トや公 S N E S S サ イ	情報提 供する	チラシ やパン フ
全体	1,521人	47.8%	40.7%	34.3%	16.4%	27.4%	18.5%	20.4%	20.4%		
第一地区	125人	48.8%	38.4%	28.8%	16.8%	28.0%	15.2%	23.2%	18.4%		

資料：鎌倉市の地域福祉に関するアンケート調査（アンケート調査より一部抜粋）

メッセージ

【市】

ワークショップやアンケートで見えてきたことをもとに、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに活かしていきます。これからも地区ごとに対話の場を続けます。一人でも、途中からでも、話すのが得意でなくても大丈夫です。ぜひ、気軽にご参加ください。

【鎌倉市社会福祉協議会】

市社協は、地区の活動や身近な相談の場に日常的に関わっています。住民の皆さんのアイデアが無理なく地域住民の主体的な取組につながるよう、地区社協や地域のみなさまとともに進めていきます。

【川上富雄先生（鎌倉市や市社協の計画づくりに長く関わってきた大学教授）】

地域づくりに、正解は一つではありません。だからこそ、いろいろな立場の声を集め、未来の暮らしを具体的に描くことに意味があります。こうした話し合いが、これからの地域づくりにつながることを期待しています。

【連絡先】

鎌倉市健康福祉部福祉政策課 地域福祉担当

社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会

〒248-8686 鎌倉市御成町 18-10

〒248-0012 鎌倉市御成町 20-21

T E L 0467-23-3000（代表）

T E L 0467-23-1075

